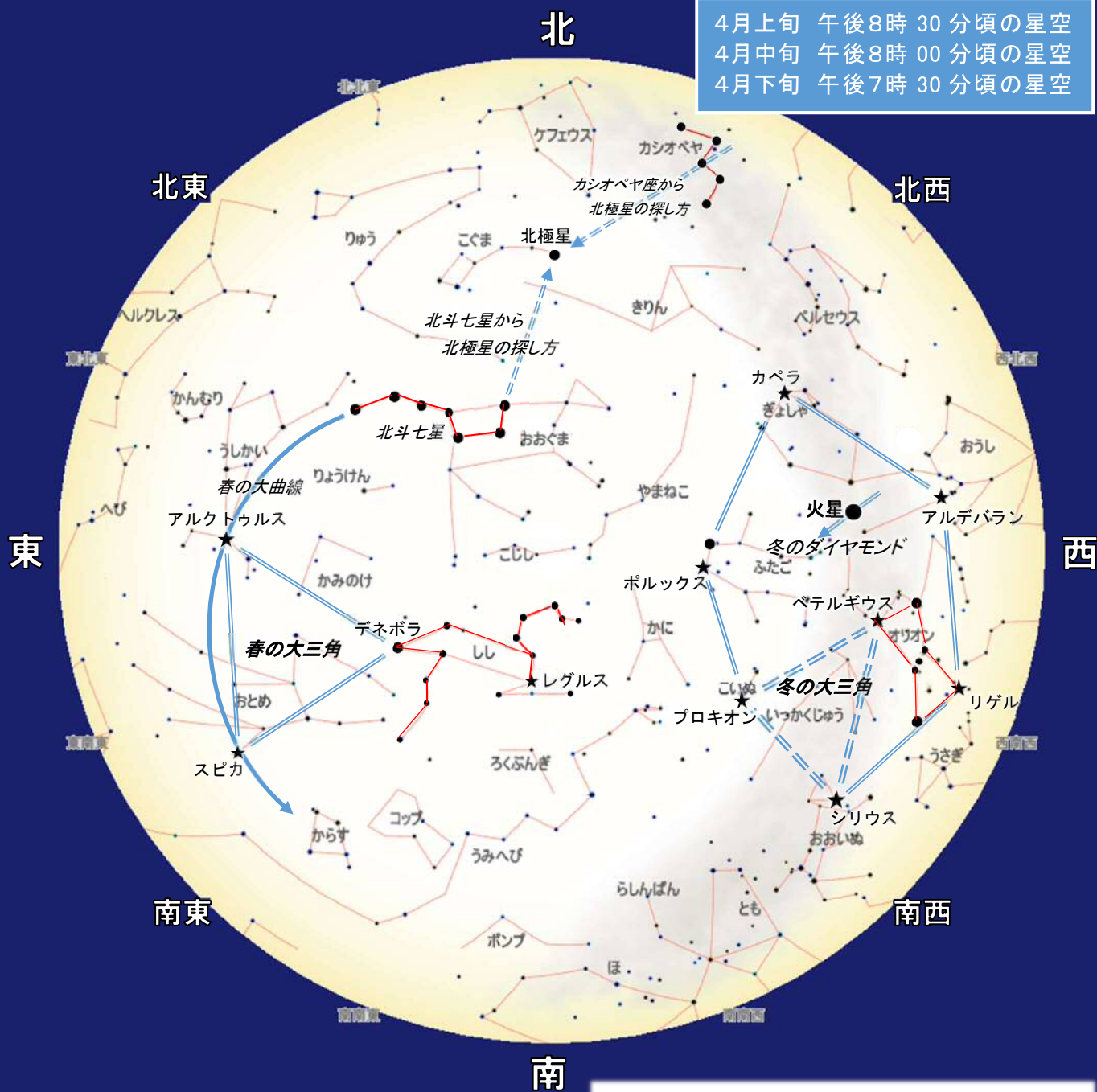


2021年 4月の星空案内



4月上旬 午後8時 30 分頃の星空
4月中旬 午後8時 00 分頃の星空
4月下旬 午後7時 30 分頃の星空



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成

【4月の星空】

北斗七星の柄の部分延ばすと、オレンジ色に輝く うしかい座の1等星「アルクトゥルス」、さらに先には おとめ座の1等星「スピカ」が見つかります。おとめ座は黄道12星座の一つで、農業(収穫)の女神デーメーテルがモデルと言われ、手に持つ麦の穂先にスピカが白く輝いています。南の空高く、太陽の通り道に輝く しし座の1等星「レグルス」は、小さな王様という意味です。『春の大三角』は、しし座のしっぽの2等星「デネボラ」、うしかい座の「アルクトゥルス」、おとめ座の「スピカ」を結びます。

【火星と月の接近】

日没後の西空に「火星(1.3→1.5等)」が見えています。昨年10月の接近時と比べるとだいぶ暗くなりました。17日には少し太めの三日月と並んで見えます。火星を囲むように、オリオン座・おおいぬ座・こいぬ座・ふたご座・ぎょしゃ座・おうし座など、1等星のある冬の星座たちが まだ目立ちます。